

横浜市

精神障害にも対応した地域包括 ケアシステムの基盤づくり

横浜市では、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて、31年度からモデル実施区を設定し、具体的な協議の場を設置する予定としています。

これに向けて、30年度は地域移行の取り組みとして、医療機関や生活支援センター等を中心に、関係者同士の顔の見える関係を構築することで、退院支援や地域生活の支援に向けた取り組みを進めたいと考えています。

1 平成30年度の達成目標と現時点での進捗状況

平成30年度の達成目標	現時点での進捗状況
1. 市自立支援協議会において検討部会を設ける	市自立支援協議会での検討部会設置に向けて、委員候補の打診中。精神保健福祉審議会及び各区や精神科医会への説明を実施予定
2. 平成31年度にモデル実施を行うための選定および準備	モデル候補区に対してヒアリング実施。今後、各区への説明を経て正式打診予定。
3.	

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組における強みと課題

【特徴(強み)】

区福祉保健センター、精神障害者生活支援センター、基幹相談支援センターが行政区に1か所ずつ設置されている

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
		行政側	医療側
社会資源はあるものの、有機的な連携ができていない	有機的な連携構築のため特定の区をモデルとして、実際に協議の場を設定していく(2区)	行政側	連携がうまくできていない
		医療側	どこに相談したらよいのか分からない
		事業者側	長期入院患者の情報(病名、入院先等)が分からず動きづらい。
		関係機関・住民等	計画相談支援の実績が少ない
		行政側	
		医療側	
		事業者側	
		関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	指標の設定理由	現状値	目標値(H30)
①事例の積み重ね	実績の積み重ねにより、課題と強みを明確化する	0件	10件程度
②			
③			

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

3 病院（医療機関）との連携状況

- 区自立支援協議会への参加、情報交換（各区状況により異なる）
- 退院後生活環境相談員・地域援助事業者等地域移行・地域定着支援検討会（研修）による情報交換
- 精神科病院実地指導を利用したニーズ調査
例）地域移行についての工夫や課題
自立支援協議会等をはじめとした地域での会議参加状況
行政や生活支援センターとの連携状況や課題

4 現時点での課題・悩み

<課題>

- 精神科病床のある病院偏在による、各区協議の場を設置した際の連携
- 個別ケースの退院支援に留まらず、最終的に地域支援へ活用していくためのシステム化